

翔

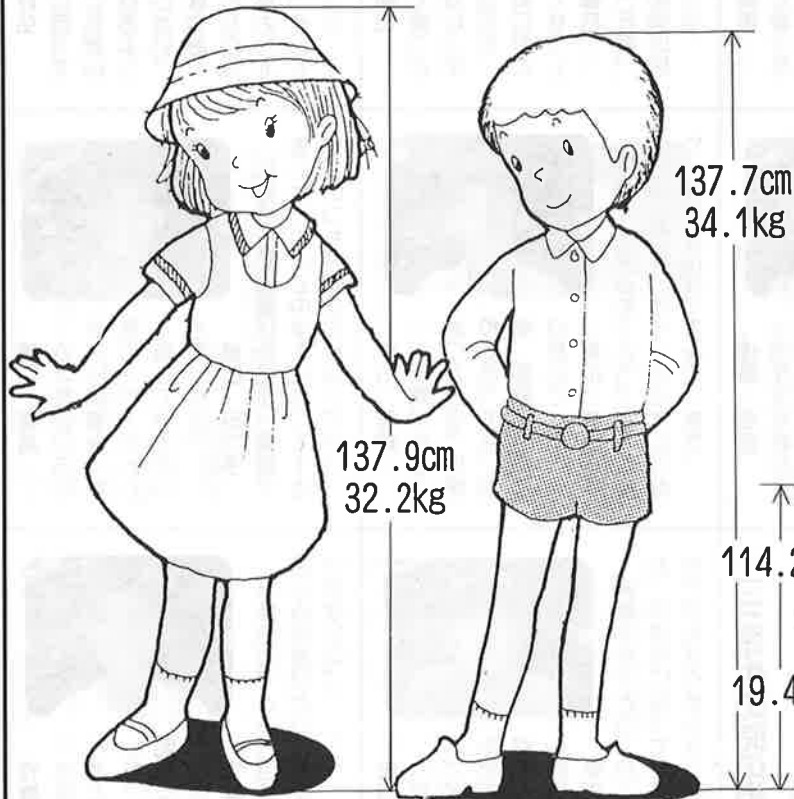


平成3年度卒業制作風景



編集発行
 羽津北小学校
 P T A 広報部
 印刷
 阿竹印刷工業㈱

第 45 号



こんなに大きく
 なりました。



6年生 ←

→ 1年生

思い出 わが子へ

六年一組

「信頼…」



担任 寺本 芳隆

「走れメロス」の話を覚えていますか。この話は君達と六年生の初めに勉強しました。内容的にもいろいろ話が含まれています。人間を信頼することが、いかに大変なことであるか、また、信頼されるには、自分がそれに足りる人間でならないということ、更に、親友がどれほど大切であるかということなのです。

君達も、この六年間学習や多くの行事・活動を通して、学級のまとまりの大切さ、友達の大切さを学んできたでしょう。

これから、中学校へ進みますが、今以上に難関が待ち受けています。そんな時、メロスやセリヌンティウスまではいかなくても、何でも相談ができ、お互いの気持ちがかかり合える友達を是非もつて下さい。

卒業 おめでとう。

古川 正明
先生方ありがとうございます。中学校へ行って、運動、勉強をがんばりたいと思います。
古川 寿光

近藤 正樹
この六年間は本当に楽しかったです。中学校に行っても、何事にもガンバリたい。
近藤 肇

須藤 巨
長いようで短かった六年間。先生達に教わったことを中学校でも生かしていきたい。
須藤 充

森 圭司
いろいろな人とふれ合えた事で、楽しい六年間になった。先生ごともありがとう。
森 憲雄

白沢 好弘
中学校に行っても、何事にもがんばって行けるように努力をしたい。
白沢 はつみ
卒業おめでとう。

長井 伸也
小学校で習ったことを生かし、中学校へ行って、勉強や運動にがんばりたいです。
長井 義巳

中西 崇匡
小学校で習ったことを生かして、勉強、運動を中学校でも、がんばります。
中西 信子

宇野 滋晃
この六年間すごく楽しかった。中学校でも楽しい思い出ができるようがんばるぞ。
宇野 仁美

樋口 寛高
六年間のいろいろな出来事を、青春の一ページとして残しておきたいと思えます。
樋口 みつ子

早川 佳輝
六年間、先生方ありがとうございました。中学校に行っても、勉強、運動にがんばりたいです。
早川 義之

佐藤 弘匡
小学生も終わりが近づいて中学生。勉強に運動にがんばっていききたいです。
佐藤 明子

糸川 尚輝
長かったような短かったような六年間でした。習ったことを中学校で生かしてみせます。
糸川 正義

竹橋 卓弥
先生、六年間ありがとうございました。中学校でも勉強やスポーツをがんばります。
竹橋 秀光

安田 浩之
六年間ありがとうございました。中学校に行っても何事にも負けずがんばりたいです。
安田 良美

末澤 元宏
二年生、三年生だったおチビさんたちが、もう小学校を卒業し、中学校へと進むんですね。小学校生活で、友達を大事にできましたか。困っている友達がいいたら、共に悩み、共に考え、共に活動することができましたか。心の目で、友達を見ることができましたか。

これらができていたら、これからも、君達の周りには素晴らしいなかがまがいます。できていないから…。自分も含めて、人を大事にすることの勉強のやり直した。さあ、中学生。自分を、友達をしっかりと見つめ、共に羽ばたけ！

二・三年生の時の担任より

井村 友律
あつという間の六年間でした。中学に行っても勉強やクラブをがんばりたいです。
井村 郁子

酒井 香織
今までお世話になった先生方、ありがとうございます。中学へ行ってがんばります。
酒井 えり子

長野 摩澄
楽しい六年間の思い出を心に残してがんばります。先生方、ごもありがとう。
長野 房子

服部 早由里
先生方、いろいろお世話になりました。中学校に行っても、いろいろがんばります。
服部 和子

服部 智明
あつという間の六年間でした。中学校へ行って勉強をがんばりたいです。
服部 智明

水谷 直美
今まで、色々ありがとうございました。中学生になっても、がんばります。
水谷 春子

山崎 文
六年間とても楽しかったです。中学校へ行って勉強にがんばりたいと思います。
山崎 美穂

市川 かほり
楽しかった六年間。中学生になっても、何事にも一生けん命がんばっていきます。
市川 里子

水谷 ユミ
先生方、ありがとうございました。中学校に行っても何事にも、チャレンジしたいです!!
水谷 清達

服部 祐季
先生方六年間ありがとうございました。中学生になっても、がんばりたいです。
服部 たか子

上井 利恵
六年間、先生方ありがとうございました。中学生になっても、がんばっていききたいです。
上井 勝利

出口 礼奈
お世話になった先生方、ごもありがとう。何事も努力してがんばりたいと思えます。
出口 美枝子

市川 扶美子
中学校に行っても、このいろいろなあつた六年間を忘れないでいたい。
市川 正美

内田 沙絵子
中学校に行ったら、健康に気をつけて、勉強に、クラブに、がんばりたいです。
内田 瑞穂

北川 聖子
先生方、ありがとうございました。中学校へ行って勉強や、クラブをがんばります。
北川 紀子

一年生の時の担任より
昭和六十一年四月六日。羽津北小学校開校五年目の入学式の日を迎えました。あの日、緊張と喜びに目を輝かせていた三十九人の子

ども達との出会い、今でもはつきりと思ひ出します。学校生活の中で、生き生きと活動している姿を目にする度に、この日の輝きを大切にしたい、と思ひつれた毎口でした。あの日から六年の時が流れ、卒業の時を迎えるみなさん、あの時の夢や願いを幾つもかなえ成長しましたね。みなさんが一人一人の姿を思い浮かべている今日この頃です。改めて、ご卒業おめでとうございます。新しい自分達の未来に向かって、更に大きくたくましく成長することを願っています。

一年生の時の担任より
入学式の可愛いかった姿、大きい声で、「ハイ」と返事もでき、御両親も、先生も、うれしそうに笑っていました。

今「けやき 26号」。「新しい七十八人の けやきつ子」をみながら、一人ひとりの成長した姿を想像しています。なんでも相談できる友達をたくさん持ち、素直な人間になりましょう。おとうさん、おかあさん、おめでとうございました。ありがとうございました。

思い出 わが子へ

六年二組

優しさ



担任 加藤 雅美

「卒業おめでとう」ございます。小学校へ入学してから、六年間という長いような、また短いような月日が過ぎ去ってしまつたことになりまふ。今、六年間という歳月に学んだことを考えて下さい。ただ学問だけを学んだわけではありません。人間の心の大切さ、「優しさ」も学んで来たことでしょうか。優しいという字は、「人」を「憂う」と書きます。自分も大切にしながら、他の人々のことを心配したり、心配りしたりするということです。そんな気持ちの上に立つて行動するのが、「優しさ」というものでしょう。思いやりやいたわりの気持ちといった感情もそこから湧いてくると思います。



寺村 直希
六年間で、教えてもらった事を中学校で、いかしたいです。

六年間病氣もしないで毎日元気よく行つた羽津北小学校も別れですね。今度は羽津中学校がんばつてね。



長井 陽平
楽しい六年間でした。中学生になつても勉強にスポーツにがんばりたいです。

あつという間の六年間だったね。先生方や友達との思い出をこれから心の糧に、心も体も大きくあれ。



鈴木 一将
早く卒業をして中学生になつてはかの友達とも仲良くなりたいたい。

「小さかつた息子」早学習過程の第一歩の卒業行事もなぐれまでに成長した息子おめでとう。先生方に感謝。



森 琢郎
この六年間でいろいろな事があつた。それを、中学校生活に生かしていきたい。

好奇心と優しさをいつも忘れず、あわてず、あせらず。ゆつくり前進しよう。



鷺山 広平
中学になつてもこの六年間の経験を生かしてがんばりたい。待てば海路の日和あり。

卒業おめでとう。四回の転校と喘息の入院も度々あつたね。夢と希望に満ちた中学生生活を今度楽しんでね。



松永 朗
思い出いっぱい。六年間だった。中学生になつたら勉強やクラブをがんばりたい。

入学当初おとなしく小さかつたけれど、随分たくましくなりました。中学では色々な事に挑戦しよう。



岡 耕司
中学校になつたら、もつと、勉強をがんばりたいと思ひます。

どう。六年間、色々な事がありましたね。中学では、勉強、クラブ共に、頑張つて下さい。



筒井 亮太
中学生になつても、勉強に、スポーツに、がんばつていきたい。

友達をいつまでも大切に。これから色々な事を体験し、心身共に大きくなれ。



尾崎 諭
早いもので六年生もあとわずか。中学生になつてもいろいろなものをがんばりたいです。

早いもので六年生も後わずか。中学生になつても勉強にクラブに、頑張つて下さい。



不破 大助
この六年間いろいろな先生がたにお世話していただいて、ありがとうございます。

大助卒業おめでとう。友達を大切に、中学生生活を十分楽しんで下さいね。



森 民郎
この六年間は、楽しかつたです。中学校になつても勉強にはげみたいです。

六年生になつてから、色々な面で少しずつ変わつてきた用な気がします。その調子で、がんばつて下さい。



加藤 友
羽津北小学校に入つて、六年間楽しかつたです。先生方、ありがとうございます。

卒業おめでとう。中学生になつたら、積極的に体をきたえ、たくましくなりたい。



船附 康志
中学生になつたら、勉強も運動もがんばつていきたいと思ひます。

も、今の素直な気持ちを忘れず、勉強にスポーツに頑張つて下さい。



清水 良保
なせばなる、なせばなるの意気込みで中学になつてもいろいろなチャレンジしたい。

卒業おめでとう。小学校六年間の思い出を大切に明るく元気で優しい中学生になつて頑張つて下さい。



岩瀬 一郎
小学校で習つたことを、中学生生活にいかして、がんばつていきたいです。

長くて短かつた六年間でした。小学校時代の思い出を大切にね。中学になつたらスポーツをしよう。



中口 尚也
先生方、六年間ありがとうございました。中学になつても勉強や部活に頑張ります。

卒業おめでとう。どんな事があつても、進めず前向きに頑張つて下さい。



伊藤 泉
「あつ」という間の六年間でした。六年間で学んだ事を中学校で生かしたい。

卒業おめでとう。あなたのやさしさを大切に、人を敬い、人をいたわる心をいつも持ち続けて下さい。



柳井 理四子
六年間でいろいろな事を学びました。これからはそれをいかしてがんばります。

6年後半は、病気の為つらい思い出をしました。これからいろいろなことがありますが、がんばつてね。



寺村 征男
この六年間ありがたう。たくさん思い出をくれた友達。先生方有り難うございました。

向日のような教子。これからもこの花のように、いつも太陽に向かい元気で、まっすぐ進め。



児玉 英子
たぐさんの思い出、友達を大切にして中学校に行つても一生懸命がんばります。

六年間の思い出を胸に、勉強や部活に励み、豊かな心と魅力ある人間性を求めて日々大切に過ごして下さい。



山本 雅也
六年間は早かつた。いろいろな勉強して、中学校に行つてもがんばつていきたいです。

今まで一日も休まずに来た事は、りつぱだと思ひます。この調子で、何事も、持続していけるよう願つ。



伊藤 絵美
六年間とても楽しかつた。中学校へ行つても勉強に運動にがんばりたいと思ひます。

卒業おめでとう。中学生になつても友達を大切に、素直で明るく、やさしい子でいて下さいね。



久志本 裕子
六年間いろいろなことがあつた。中学生になつたら、学んだことを生かしていきたいです。

卒業おめでとう。中学生になつても、友達と仲良く、クラブ、勉強を頑張つて、学校生活をエンジョイしよう。



田中 康子
この六年間で学んだ事を忘れず、中学校へ行つても勉強に運動にがんばりたいと思ひます。

先生方、支えて下さつた御りの方々、お友達の皆さん、色々とお世話になり、ありがたうございました。



前田 智美
卒業したら、小学校以上にそがしい、中学校がはじまる。充実した三年間になりたい。

卒業おめでとう。中学生になりまふね。三年間自分の目標に向かって勉強運動いろいろチャレンジしてね。



森 かおり
この六年間、いろいろなことがあつた。じゆう実した中学校生活を送つていきたい。

諸先生方の御指導の元、桜娘も花や実を付け大きく育ちました。長い歳月有り難う御座居ました。



原 小百合
六年間で学んだことを生かし、中学生になつてもいろいろなことにチャレンジしたい。

卒業おめでとう。六年間よく頑張りました。中学校でも勉強に運動により一層努力して下さい。



安田 絵美
小学校で学んだことを生かして、中学生になつても勉強にスポーツにがんばります。

卒業おめでとう。中学生になつても人の心を思いやる優しい女の子でいてね。何事にも努力。ガンバレーン。



加藤 哲雄
この六年間は、楽しかつたです。中学校になつても勉強にはげみたいです。

六年生になつてから、色々な面で少しずつ変わつてきた用な気がします。その調子で、がんばつて下さい。



加藤 友
羽津北小学校に入つて、六年間楽しかつたです。先生方、ありがとうございます。

卒業おめでとう。中学生になつたら、積極的に体をきたえ、たくましくなりたい。

三年生の時の担任より

興格 尚子



清水 恭子
なせばなる、なせばなるの意気込みで中学になつてもいろいろなチャレンジしたい。

卒業おめでとう。小学校六年間の思い出を大切に明るく元気で優しい中学生になつて頑張つて下さい。

最高学年としての自負と責任をもつて充実した日々を送つていくこと。以前、五年生と六年生の組み体操を見に行きました。みんなの成長ぶりに胸が熱くなり感激しました。いよいよ小学校を卒業して四月には中学生になるのです。ご両親様もごんなにかお喜びのことと存じます。心からお祝い申し上げます。これから先、つと見守つていきます。これから先、大きな希望をもつて、目標を達成するために努力されますよう願つていきます。今の優しい気持ちをもちつづけてすばらしい未来に向かってはばたいて下さい。

三年生の時の担任より

鈴木真左子



卒業おめでとう。三年生の皆さんに負けるものかと頑張りました。今だから言えるけど、後で腕が痛くなつたのを覚えていて。転任してしまつた為、一番活躍する高学年の時期を一緒に過ごすことができませんでした。児童会委員等、学校の中心になり、下級生を引つぱつていってくださったので、心も体も大きく成長されたこと。中学生になつたら、将来の事も考えながら、目標を持って生活されることを望みます。



一年一組だった時の文集を今懐しく思いながら読んでいます。苦しかったマラソン、楽しかつた遠足、いろいろな事がきのうの事のように思い出され、月日のたつ早さに驚かされます。いよいよ中学生ですね。中学校に行けば、勉強、クラブ、受験など、いろいろなものがあつて、いよいよ実した中学校生活を送つていきたい。一年一組だった時の文集を今懐しく思いながら読んでいます。苦しかったマラソン、楽しかつた遠足、いろいろな事がきのうの事のように思い出され、月日のたつ早さに驚かされます。いよいよ中学生ですね。中学校に行けば、勉強、クラブ、受験など、いろいろなものがあつて、いよいよ実した中学校生活を送つていきたい。

思い出 わが子へ

六年三組

さあ、出発



担任 安田 晴美

「卒業おめでとう」でございます。卒業する「という」ことは、到達点に達したことではなへて、新しい出発点に立つたことなのです。これからは「ひとり立ちの旅」自分さがしの旅です。たくさんの人と交わってください。そして、人の言葉に耳を傾け、自分をみがいてください。

この地球上に、自分は一人しかいません。その自分には、ほかの人にはない何かがあります。その何かを見つけ、伸ばしていつてほしいのです。みなさんの周りにいる人は、いろいろ手助けをしてくれるでしょう。しかし、自分をより良く変えていくのは、自分なのです。自分しかありません。がんばってください。



川村 友彦
先生方ありがとうございました。中学へいってもがんばります。卒業おめでとう。



加藤 真也
中学校になって、も、がんばっていきたくです。先生ありがとうございました。卒業おめでとう。



津村 伸広
中学校にいても、勉強や運動にがんばりたいです。あつという間の六年間でした。中学校に行っても勉強に運動にがんばってください。卒業おめでとう。



原田 尚幸
先生方、ありがとうございました。中学校に行ってもがんばります。卒業おめでとう。



川村 由紀子
卒業おめでとう。自分自身をたいせつに、人としての優しい心を持って下さい。



加藤 香
卒業おめでとう。一意専心。何事に直面してもやりぬき、自分の能力を伸ばしてほしいと思います。



津村 伸広
中学校にいても、勉強や運動にがんばりたいです。あつという間の六年間でした。中学校に行っても勉強に運動にがんばってください。卒業おめでとう。



原田 尚幸
先生方、ありがとうございました。中学校に行ってもがんばります。卒業おめでとう。



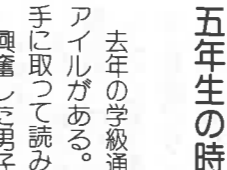
小川 一矢
思い出多い六年間でした。中学校へ行ってみなさんのことを、忘れません。卒業おめでとう。



森 慎志
先生方、六年間お世話になりました。中学生になっても勉強や運動にがんばります。卒業おめでとう。



八巻 敬則
中学校に行っても、勉強や運動を頑張りたい。八巻 恵子 卒業おめでとう。



難波 京子
先生方、ありがとうございました。中学校に行っても一生けんめいがんばります。卒業おめでとう。



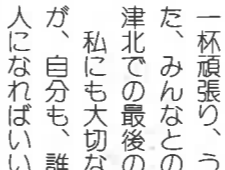
山崎 将士
卒業おめでとう。納得のいく六年間でした。小学校で学んだ色々な事友達のことでも忘れないうでね。先生方本当にお世話になりました。



米村 拓磨
卒業おめでとう。君達には勉強と更に、もっと大事な事があると思う。それは独立心である。がんばれ。



佐々木 誠
中学生になっても、勉強に運動に頑張ります。卒業おめでとう。



難波 京子
先生方、ありがとうございました。中学校に行っても一生けんめいがんばります。卒業おめでとう。



寺村 佳高
先生方、六年間ありがとうございました。中学校に行っても部活、勉強にもがんばります。卒業おめでとう。



伊藤 祐基
先生方、六年間お世話になりました。中学校に行っても部活、勉強にもがんばります。卒業おめでとう。



竹内 美奈
六年間、学んだことを、生かして、中学校でもがんばろうと思つて、卒業おめでとう。



河村 恵里
中学生、不安ばかりだけれど、クラブ、勉強にがんばりたい。ありがとうございました。卒業おめでとう。



藤井 一
この六年間、とても思い出になりました。中学校に行ってもがんばりたいです。卒業おめでとう。



伊藤 理恵
今まで、担任して下さった先生方ありがとうございました。卒業するのがさみしいです。卒業おめでとう。



坂中 亜紀
六年間お世話になった先生方、ありがとうございました。これからがんばります。卒業おめでとう。



中西 典子
先生、ありがとうございました。中学生になっても勉強、運動にがんばりたいです。卒業おめでとう。



嶋野 陽子
小学校六年間が終わり、いよいよ中学生です。思いやりの心を持ち続けて、友達を沢山つくって下さい。



藤本 薫
小学校の思い出を胸に、中学校へ行っても友達を大切に、勉強に運動に励みたいです。卒業おめでとう。



茅野 里奈
中学校へ行っても、運動や勉強を精いっぱいやりたいと思います。卒業おめでとう。



吉村 真紀
この六年間に習った事を忘れず、中学校に行っても勉強や運動を、がんばりたいです。卒業おめでとう。



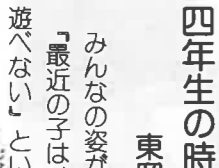
米田 早苗
三年の夏に転校してきてから、とても楽しかったです。お世話になった先生方ありがとうございました。卒業おめでとう。



伊藤 二時子
卒業おめでとう。これからは、相手の立場になって物事を考え、行動できる様になって下さい。



松岡 晶子
中学になっても勉強に、運動にはげみたいです。卒業おめでとう。



東岡(松田) みどり
みんなの姿が「元気のもと」。「最近の子は、ファミコンでしか遊べない」というけれど、みんなはとも遊び上手で、いつも外で遊んでいましたね。みんなの遊ぶ姿を見るのが、大きかったです。

うだるような暑さの登校日にも朝から元気に遊んでいましたね。その姿が、暑さをわすれさせてくれました。帰りに、田中の炎天下、クラスみんなで遊んでいきましたね。その姿は、いつしよに走りまわる元気をわかせてくれました。(でも、走り過ぎて、夕方には頭痛とはき気に苦しんでいた私です。)

四年生の時の担任より

細井 公博

羽津北小学校六年生のみなさんへ卒業おめでとう。卒業おめでとう。もとも四年三組のみなさん元気です。先生は今、九州は長崎県でたくさんのお盆さん達と毎日遊んでいます。スポーツ大好き少年・お絵書き大好き少女・おこりんぼさん・泣き虫さん等々いろいろな友達がたくさんいたね。そんなみんなが春には中学生。21世紀には成人になるんだね。みんなが大人になった時、世界はどうなっているだろうね。どんな世界(地球)になつて欲しいかな? 先生は、みんなが仲良しで楽しいだけの地球人になれるよう長崎でやっています。みんなもそんな地球になる一助にやっています!!



平成二年度

第四回学級委員会より

今年度は、PTA活動の活性化を心がけながら運営してきました。一人でも多くの会員が参加いただけるように、「親睦PTAリレー」「陶芸教室」「十周年記念講演会」など皆様のご協力により、やらせていただきました。

一月七日に、「一年を振り返って」というテーマで、反省会を行ったところ、来年度に向けて次のような意見・要望が出されました。

- 「学級懇談会」について
- 各学年の開催をすすめたい。
- 下の子どものお迎え等にかからないようにしてほしい。
- テーマを決めるのも重要
- 「陶芸教室」について
- 大変好評でした。毎年開催してほしい。

役員がとても大変なので参加者の協力をお願いしたらいよいよ。
 ○「親睦PTAリレー」について
 ○人数を減らして距離を長くする。
 ○人集めが大変でした。
 ○レクリエーション的な種目がよい。
 ○「講演会」
 ○とてもよかったです。もっと回数が増えるといい。

誌面の都合で掲載できませんがその他にも多くの意見、要望等が

出されました。

本日に、学級委員さん、先生方のおかげで、充実した一年になったと心から感謝しております。平成四年度は、組織も一部変わる事になります。皆様の益々のご協力をお願い申し上げます。



熱心に討議する学級委員会のみなさん

10周年記念講演会

二一世紀にのびる子どもたち

一月一九日に、羽津北小学校の創立十周年記念講演会が開催されました。

大阪教育大学の秋葉秀則教授を講師にお迎えして、「二一世紀にのびる子どもたち」という演題で、情熱のこもったお話を聞かせていただきました。

講演の中で触れられた特徴的な内容を掲載します。

「二一世紀に向けて、子どもたちを「しつかり育て上げる」必要がある。それは、現在を未来につなげ、豊かな人間社会を創造しようとするときに欠かすことの出来ない重要な課題であるからだ。

高度経済成長の課程で、子どもたちの世界の中でも、考えられない出来事が多く発生している。この深刻な子ども問題を解決することなく、二一世紀を迎えるならば、明るく未来は望めないと思う。

今日的な問題は多くあるが、中でも「子ども自殺」「登校できない子どもたち」「非行の多発」「高等学校中退の多発」など二〇年前には考えられなかった深刻な状況にある。

このような深刻な問題は、中学校二年生ぐらいの年齢が最も多く発生している。



質問に答える秋葉先生

これは、高度経済成長の過程で「モット・早く・人より」という価値観が増幅され、「満足する」ことが出来なくなり、社会全体をはじめとする私たちの生活、子どもたちの世界にまで多くの影響が及んでいることに根本的な原因があると思つた。

子どもたちを支えているはずの大人たちの中にも、子どもを見つめる「目」に異変が起こってきている。神戸で発生した「校門圧死事件」では、学校に出てきた子どもが命が奪われてしまった。

「モット・早く・人より」という価値観は子育てや教育にはなじまない価値である。子どもは、長い時間をかけて、大人に成長していくのだから「早く」という価値はなじまないし、何でも一人で出来る子、手のかからない子が二一世紀を切り開いて育っていくと思つたことは基本的なあやまりである。子どもは、ゆつくりと、ていね

いに成長していく存在であること(を再認識する必要がある。

子どもたちの「頑張り」を評価することなく、「モット」と要求することは大きな問題を生じさせる結果となる。子どもは、本来負けず嫌いの勝ちたがりな存在であり、そこへ、「モット」やれと言つたことは酷である。子どもたちを積極的に評価する姿勢を持たなければならぬ。

子どもたちに豊かな未来を保障するために、今一度、立ち止まつて考える時である。

子どもを「愛する」基本姿勢を確立しなければならぬ。愛しているつもりが多くなっている。

子どもは、親の背を見て育つのであり、お父さんやお母さんのようになつてみたいと思つたときに親たちを信頼して、その指導に従うようになるのである。

子どもを心底から愛することを考えてみたい。

編集後記

四五号の発行で、本年度の広報部としての主な任務を終えることとなりました。

本紙が、二月に行われた「市P連」主催のPTA広報紙コンクールで、「入選」を獲得したことを報告すると共に、関係各位のご協力に感謝を申し上げます。

今後、この「けやき」に対するご支援、ご指導をお願い致します。